



《将来に向けた取組方針》

エプソンは事業活動や社員の生活による生物多様性との関わりを認識し、「事業を通じた生物多様性の保全」と「生物多様性に対する意識を高める」ことに取り組んでいる。環境ビジョン2050では「省・小・精の価値」を基盤に循環型経済を牽引する意思とともに、グローバルに事業を展開する中で、ローカルの課題に寄り添うことで国際的な環境保全活動へ貢献する姿勢を示している。特に循環型経済の中心となる資源循環への対策を講じることで、生態系への負荷を減らす努力を続ける。

〈商品・サービスでの取り組み〉

● 乾式オフィス製紙機「PaperLab」

独創のドライファイバーテクノロジーの開発により、オフィスでの紙再生を可能にした。これにより、森林資源の有効利用と、紙の「地消地産」(手元での紙循環)が実現する。

2019年の国際会議にて日本の環境技術の認知向上を目的に出展し、その性能と魅力を発信することで国内外から高い関心が寄せられた。

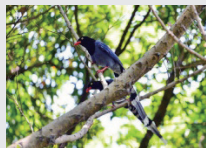
※ 2016年発売、2020年海外展開予定



〈地域ニーズに応じた活動〉

● 台湾の野生生物の保護活動

台湾固有の鳥「台湾藍鶯」をはじめとする野生生物の生息環境の保全のため、2017年からの3カ年にわたり、社員参画プログラムを実施。環境意識の向上を図りながら、生態系の保全と持続可能な有機茶生産を支援。



〈エプソングループの志〉

エプソンは、経営理念に掲げる「地球を友に」を実現するため、企業行動原則に「自然環境の尊重」を制定。自然資本に配慮したものづくりと、社会の一員としての心掛け、行動の内容を示している。